

平成27年 5月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート 平成27年5月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

さて、いよいよ、八戸市が舞台の映画『ライアの祈り』が6月13日から全国上映されます（青森県内は5月30日から先行上映です）。

先日、都内で試写会が行われ、題字を手掛けた安倍洋子さん（安倍晋三首相の母）から市長に題字が入った額が贈呈されました。また、応援団長に就任した元横綱朝青龍さんも、力や勇気をもらえる映画だ、と絶賛しています。

本当に公開が楽しみです！

記

### ◆ 映画『ライアの祈り』

#### ○ 上映劇場（首都圏の映画館の一部抜粋です）

都道府県	都 市	劇場名	公開日	電話番号
東京	有楽町	有楽町スバル座	6月13日(土)	03-3212-2826
神奈川	川崎	チネチッタ	6月13日(土)	044-223-3190
神奈川	横浜	横浜ニューテアトル	6月20日(土)	045-261-2995
神奈川	小田原	小田原コロナシネマワールド	6月13日(土)	0465-45-5671
千葉	佐倉	イオンシネマユーカリが丘	6月13日(土)	043-463-9922
埼玉	川越	ユナイテッド・シネマウニクス南古谷	6月13日(土)	0570-783-190
埼玉	幸手	シネプレックス幸手	6月13日(土)	0480-40-5000

#### ○ 前売券チケット……一般1,100円

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸 5月号 レポート

平成27年4月の八戸市内での出来事や、八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

No.	項目
1	八戸市との合併から10年 「南郷区」解消し「南郷事務所」へ
2	八戸市総合保健センター 2020年度の完成を目指す
3	八戸市議選 自民系15人当選で最大勢力維持

## 【産業】

No.	項目
4	八戸LNGターミナル本格稼働
5	抗菌研究所 八戸に本社工場完成
6	旧レック・旧マルマツ再開発 複合ビル 実施設計完了
7	八戸LNG基地にバハマからの巨大タンカー入港

## 【地域】

No.	項目
8	家庭で手軽に味わえる「八戸銀サバトロブけ丼」新発売
9	「イサバのカッチャ」人形 はっちにお目見え
10	種差海岸遊覧ワンコインバス「うみねこ号」運行開始
11	震災で流失した鳥居 米國オレゴン州から「里帰り」
12	出張者向けのガイドブック 「八戸出張スマート本」作成
13	燕島のウミネコ ことし初の産卵を確認
14	三島サイダーでサワー類提供 ～元祖白銀バナナサワーはいかが～
15	「第37回市民と花のカーニバル」パレード華やかに開催
16	不習岳（ならわずだけ）山開き 山頂に新展望台オープン

## 【文化・スポーツ】

No.	項目
17	「根城史跡ボランティアガイド」始動 ～おもてなしの心 大切に～
18	ヴァンラーレ八戸と「吉田屋」がコラボ 「ヴァンラーレ八戸弁当」発売へ
19	惣菜・弁当グランプリで「復幸炙りかきとうにめし」（吉田屋）が金賞！
20	八戸せんべい汁に合う地酒 4銘柄を認定
21	八戸のPRアニメ「はちのへごっこ「ハマネコ」」幼稚園などに配布

## 【県内】

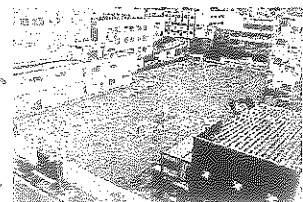
No.	項目
22	青森県の高齢化率 75歳以上の割合14.57%で過去最高
23	2014年度青森県ドクターヘリ出動件数 過去最多の866件

【 行政 】

No.	レポート
1	<p><b>八戸市との合併から10年 「南郷区」解消し「南郷事務所」へ</b></p> <p>八戸市と旧南郷村の合併から10年を迎えた3月31日、旧村に設置された地域自治区「南郷区」が解消された。これに伴い、4月1日から「南郷事務所」となる南郷区役所では、看板の掛け替え作業が行われた。同事務所は、区役所が担ってきた地域振興策や各種窓口サービス、各出先機関を引き続き所管する。道路管理や保健センター業務は本庁に一元化されるが、担当職員を配置・派遣するため、体制はほぼ変わらない見通しである。</p>
2	<p><b>八戸市総合保健センター 2020年度の完成を目指す</b></p> <p>八戸市が田向地区に整備を予定する「(仮称)市総合保健センター」について、2020年度中の完成を目指していることが分かった。保健所と同じ施設内には休日夜間急病診療所、歯科の休日診療スペース、子どもの発達に関する相談にワンストップで対応する「こども支援センター」、高齢者の介護予防などを担う「介護・認知症予防センター」を置く。中核市移行の目標としている2017年1月1日には間に合わない見通しのため、市は保健所機能について、同センター完成までの間、市庁舎と東部終末処理場に分散配置する方針を示している。</p>
3	<p><b>八戸市議選 自民系15人当選で最大勢力維持</b></p> <p>統一地方選を締めくくると八戸市議選が4月26日に行われた。現職28人のうち25人が議席を確保したほか、元職2人、新人5人が当選。自民党系は計15人で、改選前に引き続き最大勢力の座を守った。年代別では、20代の新人1人が3千票台で上位当選したほか、議席を守った30代の現職4人と合わせ、若手の割合が高くなった。また女性候補は6人のうち5人が当選し、過去最多となった。</p>

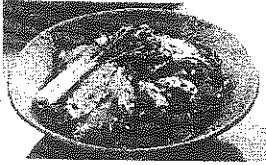

【 産業 】

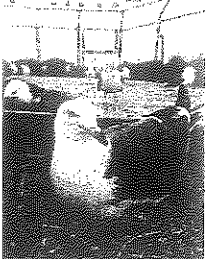
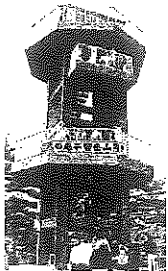
No.	レポート
4	<p><b>八戸LNGターミナル本格稼働</b></p> <p>JX日鉱日石エネルギーは4月1日、八戸港ポートアイランドの液化天然ガス(LNG)輸入基地「八戸LNGターミナル」の営業運転を始めた。タンク2基を合わせた貯蔵量は計28万キロリットルと、LNG輸入基地として東北最大級で、着工から4年を経て本格稼働を迎えた。八戸、釧路の両ターミナルを運営する「JX日鉱日石エルエヌジー・サービス」の松田浩二社長は「新たなエネルギーの供給源として稼働を始めたのは意義深い。この基地が地域産業の起爆剤になれば良いと思う」と話している。</p>
5	<p><b>抗菌研究所 八戸に本社工場完成</b></p> <p>陸奥湾産ホタテガイの貝殻を使った抗菌剤などを製造する、抗菌研究所の本社を兼ねた新工場が、4月4日、八戸市に完成した。4月の試験操業を経て、5月からの本格出荷を目指す。同社は、八戸進出に合わせ、昨年10月に本社を栃木県から移した。既に30人を地元から雇用し、さらに20人程度の増員を検討する。</p>
6	<p><b>旧レック・旧マルマツ再開発 複合ビル 実施設計完了</b></p> <p>三日町と六日町にまたがる旧レック・旧マルマツ跡地の再開発で、六日町側に複合ビルを計画する江陽閣(八戸市)は、4月6日、実施設計が完了したことを公表した。昨年10月に公表された基本設計から大きな変更はない。4階建ての複合ビルは1、2階に物販店や飲食店、3階にオフィス、4階にカフェテリアやイベントが開催できる屋上テラスを想定する。</p>



7	<p><b>八戸LNG基地にバハマからの巨大タンカー入港</b></p> <p>4月24日、JX日鉱日石エネルギーの液化天然ガス(LNG)輸入基地「八戸LNGターミナル」にLNGを積んだ全長約288メートルの巨大タンカーが接岸した。同基地へのLNGタンカー入港は、試運転前の1月に続き2隻目で、4月1日の営業運転開始後は第一船となる。タンカーはバハマ船籍の「タンゲー ヒリ」、総トン数約10万2千トン。同港としては過去最大級の船で、同基地の2基あるLNGタンク一つが満杯になる量だという。同基地には本年度、10万トン級のタンカーが5～6隻入港する予定。</p>
---	--

【 地域 】

No.	レポート
8	<p><b>家庭で手軽に味わえる「八戸銀サバトロづけ丼」新発売</b></p> <p>八戸市の水産加工品製造業・ディメールは、八戸前沖さばのうち大型の「銀鯖」を使った新商品「八戸銀サバトロづけ丼」を4月1日に発売した。1月に東京で開かれた「第6回全国ご当地どんぶり選手権」で準グランプリを獲得した丼を、手軽に味わえるように開発したもので、脂の乗った漬けサバを熱いご飯の上に敷き詰め、しょうゆとみりんベースの特製たれをかけると、家庭でも簡単に楽しめる。六日町の飲食店「サバの駅」代表の沢上弘さんが監修した。ユニバース全店で取り扱っている。</p> 
9	<p><b>「イサバのカッチャ」人形 はっちにお目見え</b></p> <p>「はっち」1階インフォメーションに、八戸市の人形作家・松倉久美子さんが約3カ月かけて手作りした、魚介類を売り歩くハマの女性「イサバのカッチャ」の布製人形がお目見えした。「来館者がほっとするような表情にしたかった」という、笑った目元が特徴。通年で展示し、年5回の衣替えも予定している。カッチャの隣には、フェルト製のウミネコも登場。スタッフの一員として、愛嬌たっぷりの表情で来館者を迎えている。</p> 
10	<p><b>種差海岸遊覧ワンコインバス「うみねこ号」運行開始</b></p> <p>種差海岸を遊覧するワンコインバス「うみねこ号」が4月1日、今季の運行を開始した。JR八戸線鮫～種差海岸駅間を毎日7往復、片道28分で結ぶ。蕪島や葦毛崎展望台、大須賀海岸など種差の景勝地を順番に巡る。同海岸などのラッピング広告を施した車両による三陸復興国立公園のPRも兼ねており、観光客らの利用が期待されている。料金は大人100円、子ども50円。運行は11月15日まで。</p>
11	<p><b>震災で流失した鳥居 米国オレゴン州から“里帰り”</b></p> <p>2013年春に米国オレゴン州の海岸に流れ着いた八戸市の大久喜漁港の鳥居2基が、今夏にも返還され、震災から5年を迎える2016年3月までに再建される。鳥居は漁港内にある巖島神社とその周辺に、地元の漁師らが安全祈願のために奉納したもので、震災の津波で流され、その約2年後にオレゴン州西部の海岸に漂着した。現地に在住するポートランド日本庭園学芸員の内山貞文さんらの尽力によって、所在地が判明。遠く離れた八戸とポートランドが結ばれ、鳥居が“里帰り”する運びとなった。</p>
12	<p><b>出張者向けのガイドブック 「八戸出張スマート本」作成</b></p> <p>八戸観光コンベンション協会は、八戸市に出張で訪れたサラリーマンらを対象にしたガイドブック「八戸出張スマート本」を初めて作成した。時系列に沿った構成で、八戸駅から始まり、仕事終わりの食事や帰る前のお土産情報などを掲載している。時間の限られた出張者のために、種差海岸を巡る短時間観光モデルコースなども提案したほか、詳しい公共交通情報や、空き時間にパソコンを利用できる作業スポットも紹介している。</p>

13	<p><b>燕島のウミネコ ことし初の産卵を確認</b></p> <p>国の天然記念物に指定されているウミネコの繁殖地・燕島で、4月19日、ことし初の産卵が確認された。産卵シーズンは4月下旬からが本番で、5月下旬にはたくさんのひなが誕生する。監視員によると、同日午後4時頃に燕嶋神社裏側の草地で卵を発見した。昨年より1日遅く、ほぼ例年並みであった。</p>	
14	<p><b>三島サイダーでサワー類提供 ～元祖白銀バナナサワーはいかが～</b></p> <p>八戸市内の飲食店で、「みしまバナナサイダー」と「三島シトロン」(八戸製氷冷蔵)を使ったサワー類が提供されている。白銀町雷の飲食店「富士屋」では、「元祖白銀バナナサワー」と「元祖白銀ハイボール」がメニューに並ぶ。ベースとなるサイダーは地元・白銀の味。経営者の平岡さんは「何か地元のものを使ったドリンクメニューを考えた時、子どもの頃から慣れ親しんできたサイダーが浮かんだ」と話している。店のメインは焼き肉や焼き鳥で、「甘いサイダーが意外に合う」と女性客を中心に人気だという。</p>	
15	<p><b>「第37回市民と花のカーニバル」 パレード華やかに開催</b></p> <p>八戸市の中心街で4月29日、「第37回市民と花のカーニバル」が開かれた。八戸商工会議所などで組織する実行委員会が主催。パレード部門、路上部門に約20団体が出演し、十三日町から八日町までの路上と「はっち」の1階で、パフォーマンスを繰り広げた。沿道には大勢の市民が集い、園児や市民グループが披露するダンスや演奏、手踊りなどの華やかなパレードを楽しんだ。</p>	
16	<p><b>不習岳(ならわずだけ) 山開き 山頂に新展望台オープン</b></p> <p>八戸市南郷の市民の森不習岳(ならわずだけ:標高375メートル)が4月29日、今季の山開きを迎えた。市が建て替えを進めていた山頂の展望台がオープン。新展望台は2階と3階があり、高さは約16メートルで以前よりやや高く、デッキの足場は八角形で、360度を見渡せる。鉄骨に木材を張り付け、自然景観との調和を図った。訪れた市民は早速、八戸周辺を一望できるデッキからの眺めを楽しんでいた。</p>	

【文化・スポーツ】

No.	レポート
17	<p><b>「根城史跡ボランティアガイド」始動 ～おもてなしの心 大切に～</b></p> <p>八戸市の史跡根城の広場で、来場者に無料で広場内を解説する「根城史跡ボランティアガイド」の出発式が4月5日開かれ、2015年度の活動がスタートした。1997年の発足以来、2014年3月末までに約10万3000人を案内。発足から17年目で大台を達成した。28人の会員が、おもてなしの心で分かりやすくガイドをする決意を新たにしていた。</p>
18	<p><b>ヴァンラーレ八戸と「吉田屋」がコラボ 「ヴァンラーレ八戸弁当」発売へ</b></p> <p>日本フットボールリーグ(JFL)のヴァンラーレ八戸は、駅弁販売を手掛ける八戸市の吉田屋とコラボレーションした「ヴァンラーレ八戸弁当」を発売すると発表した。千円～1300円程度の予算で、中身やデザインは、市民やサポーターらに公募して決定する。6月ごろからホーム会場や吉田屋の即売所、JR八戸駅構内などで販売開始したい考えである。吉田屋の吉田広城社長は「スポーツと食のコラボで新しいファン層を開拓できれば」と期待を寄せている。</p>

19	<p><b>惣菜・弁当グランプリで「復幸炙りかきとうにめし」（吉田屋）が金賞！</b></p> <p>駅弁製造・販売の吉田屋（八戸市）の「復幸炙りかきとうにめし」が「惣菜・弁当グランプリ2015」（日本食料新聞社主催）の駅弁部門で金賞に輝いた。同グランプリは6部門で、駅弁誕生130年を記念して駅弁部門を新設。審査では「食べ応えのある大粒カキとウニの相乗効果で、想像以上の美味」と評価された。吉田屋の吉田社長は「東日本大震災の被災企業の一社として、三陸地方の食材を使って被災地を元気づける商品が作れた」と喜びを語った。</p>
20	<p><b>八戸せんべい汁に合う地酒 4銘柄を認定</b></p> <p>八戸市の「地酒研究会はちのへ」と、「八戸せんべい汁研究所」は、純米酒4銘柄を「八戸せんべい汁似(に)、合う地酒」に認定した。認定されたのは「菊駒純米酒」（菊駒酒造）、「桃川純米酒」（桃川）、「八鶴純米酒」（八戸酒類）、「陸奥男山超辛純米酒」（八戸酒造）。4社の蔵元が共通ラベルで販売、土産・贈答用としてPRするほか、八戸せんべい汁を提供している八戸市内や首都圏の飲食店に売り込む。せんべい汁と地酒の相乗効果による地域活性化を目指す。</p>
21	<p><b>八戸のPRアニメ「はちのへごっこ「ハマネコ」」 幼稚園などに配布</b></p> <p>八戸市は、地元の魅力を発信するため昨年制作したアニメーション作品「はちのへごっこ『ハマネコ』」のDVDを、市内の幼稚園、保育園、小学校などに配布している。これまではネット上での映像配信が中心だったため、市の担当者は「かわいらしい映像と音楽を八戸の子どもたちに覚えてもらいたい」と、お遊戯などでの活用を呼び掛けている。作品は、八戸の魅力にひかれて移住し、浜でカフェを営む主人公の女の子「ハマネコ」と、八戸弁を話すウミネコの男の子「カブ」ら地元住民との交流を描いた物語。八戸の食や名所が随所にちりばめられている。</p>

【 県 内 】

No.	レポート														
22	<p><b>青森県の高齢化率 75歳以上の割合14.57%で過去最高</b></p> <p>青森県が発表した「2014年度県高齢者人口等調査」によると、総人口に占める65歳以上の割合「高齢化率」は、過去最高となる28.71%に上がったほか、前年度と比べて1.10ポイント増え、これまでで最も大きい伸び幅になったことが分かった。総人口中の75歳以上の割合も、14.57%で過去最高を更新した。人口減少が続く中、寿命が延びたことや、団塊世代が65歳に突入したことが背景にあると県高齢福祉保険課では分析している。</p>														
23	<p><b>2014年度青森県ドクターヘリ出動件数 過去最多の866件</b></p> <p>青森県ドクターヘリの2014年度出動件数は過去最多の866件に上った。青森、岩手、秋田の北東北3県の広域連携による出動は前年度比13件増の合計20件あり、このうち青森県ヘリの出動が最も多い12件。出動の内訳は、八戸市立市民病院が拠点の八戸ヘリが489件（前年度比97件増）、県立中央病院（青森市）が拠点の青森ヘリが377件（52件増）だった。</p> <div data-bbox="1117 1523 1388 1736"> <p>青森県ドクターヘリの出動状況</p> <table border="1"> <caption>青森県ドクターヘリの出動状況</caption> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>出動件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2009</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>2011</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>717</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>866</td> </tr> </tbody> </table> </div>	年次	出動件数	2009	224	2010	352	2011	433	2012	540	2013	717	2014	866
年次	出動件数														
2009	224														
2010	352														
2011	433														
2012	540														
2013	717														
2014	866														

## ふるさと寄附金のご案内

～ふるさと八戸を応援してください～

「ふるさと寄附金」とは、市内外を問わず、「八戸を応援したい」という方々から広くご寄附をいただく制度です。これまで納めてもらっていた税を「ふるさと寄附金」に振り替えていただくことで、直接、寄附者の意向を八戸のまちづくりに反映することが可能となります。

- ◆ 寄附金の使いみちをお選びいただき、「震災復興基金」「奨学ゆめ基金」などの基金積立や、教育・福祉・環境などの各種事業に充てることができます。
- ◆ 寄附をされた金額のうち2,000円を超える分について、一定限度まで住民税の税額控除が受けられます。
- ◆ 法人・団体からの寄附も受付しています。法人の場合、地方公共団体に対する寄附金は全額が損金算入できます。
- ◆ 寄附をいただいた個人の方には、八戸市内公共施設12か所を各1回ずつ無料で利用できる「八戸ウェルカムチケット」のほか、金額に応じて、八戸せんべい汁セットや南郷そば・つゆセットなどの特産品を進呈いたします。

5,000円以上10,000円未満	・・・ 国宝合掌土偶ストラップ <sup>®</sup> 、いかずきんズ <sup>®</sup> ア-ストラップ、 いかずきんズファミリー-双子の子供ストラップ <sup>®</sup> のいずれか1点
10,000円以上	・・・ 特産品（1品選択）
100,000円以上	・・・ 特産品（2品選択）

### お申込み方法

**ホームページ** ⇒ 八戸市ホームページ(<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/>)から、「ふるさと寄附金申込フォーム」に必要事項を入力して送信してください。

**郵送** ⇒ 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項を記入して、八戸市住民税課へ郵送してください。「ふるさと寄附金申込書」は郵送でお届けしますので、八戸市住民税課までご連絡ください(ホームページからもダウンロードできます)。

<宛先> 〒031-8686 青森県八戸市内丸一丁目1番1号  
八戸市 住民税課 ふるさと寄附金担当  
TEL : 0178-43-9232(直通) e-mail : [jumin@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:jumin@city.hachinohe.aomori.jp)

### 寄附者のご紹介

※今回より、ふるさと寄附金で寄附された方々のお名前は、翌々月号でご紹介させていただきますので、ご了承くださいませようお願い申し上げます。  
つきまして、平成27年4月に寄附された方々のお名前は、次号(6月号)でご紹介させていただきます予定です。

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。  
関連情報がありましたら、是非ご提供願います。  
また、事務所近くにお越しの際はどうぞお立ち寄りください。

#### 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階  
TEL 03-3261-8973 FAX 03-3239-6723  
E-mail: [tokyo@city.hachinohe.aomori.jp](mailto:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp)  
所長 鈴木伸尚 主査 尾崎健介 囑託 籠利京子